

チームエントリーリスト

ゼッケン	出場チーム	出場回数	前回順位
1	日本大学	15 回目	1 位
2	駒澤大学	13 回目	2 位
3	中央大学	17 回目	3 位
4	北海道学連選抜	17 回目	22 位
5	東北学連選抜	17 回目	14 位
6	日本体育大学	11 回目	5 位
7	順天堂大学	16 回目	6 位
8	東海大学	12 回目	4 位
9	亜細亜大学	4 回目	17 位
10	法政大学	9 回目	7 位
11	中央学院大学	2 回目	
12	神奈川大学	11 回目	10 位
13	北信越学連選抜	17 回目	18 位
14	中京大学	5 回目	
15	京都産業大学	17 回目	9 位
16	立命館大学	6 回目	11 位
17	徳山大学	8 回目	13 位
18	中国四国学連選抜	17 回目	15 位
19	第一工業大学	10 回目	19 位
20	鹿屋体育大学	13 回目	
21	米国 I V Y リーグ選抜	8 回目	16 位



スピードで決まる出雲路
 「スピード駅伝」という異名を持つ出雲。その名の通りレースはめまぐるしく展開し、順位が激しく変動する。さらに近年は戦力差も均衡し混戦にますます拍車をかけそうだ。

そんな中、優勝候補の最有力に挙げられるのは大会連覇中の日大だろう。今年も戦力は充実しており、強力な布陣で臨んでくるに違いない。日大の三連覇を阻止する存在が駒大である。前回、前々回と2年連続でアンカー勝負の末に、逆転負けを喫した選手たち。欲しいのは今年こそ1番の称号だ。リベンジに燃えるチームが奮起し、駅伝での強さを発揮すれば7年ぶりの優勝も十分見えてくるはずだ。

また実力派ルキーが加入した東海大と順大。近年めきめきと力をつけている日体大や中大も侮れない存在だ。駅伝シーズンに弾みをつけるという意味で大事な一戦。前半からの出遅れは致命的だが、干渉級が出揃う3区でどう立て直すかによっては、今年もアンカー勝負まで持ち越される可能性が高い。大激戦を制して開幕を勝利で飾るのはどの大学だろうか。

総合・区間記録

1区 8.0 分	田子康宏(04年立命大)	23分26秒
2区 5.8 分	下里和義(03年神大)	16分33秒
3区 8.5 分	A・バイ(03年第一工大)	24分55秒
4区 6.5 分	坂井隆則(02年順大)	18分08秒
5区 5.0 分	小出徹(03年東海大)	14分26秒
6区 10.2 分	0・モカンバ(03年山学大)	29分20秒
総合 44.0 分	日大(04年)	2時間09分12秒

(西田 ちはる)

サイモン擁する日大の3連覇なるか。それとも他校が阻止するか。



駒大エントリーメンバー

氏名(学年)	出身校	5000mベスト	10000mベスト
齊藤弘幸(経4)	東農大二(群馬)	14分05秒85	28分36秒64
井手貴教(社4)	有田工(佐賀)	14分13秒64	29分38秒09
佐藤慎悟(政4)	作新学院(栃木)	13分58秒76	29分08秒62
藤山哲隆(歴4)	白石(佐賀)	14分09秒38	29分20秒66
村上和春(経4)	秋田工(秋田)	14分07秒80	29分17秒2
高井和治(政3)	白石(佐賀)	14分01秒68	29分09秒98
安西秀幸(社2)	会津(福島)	14分27秒60	
堺晃一(法2)	飾磨工(兵庫)	14分13秒40	29分58秒
平野護(禅2)	出雲工(島根)	14分22秒65	29分58秒63
池田宗司(法1)	那須拓陽(栃木)	14分08秒50	29分45秒61

レース前日に正選手6名+補欠2名が発表されます

は今季更新

発行人 米田樹史
 スタッフ 荒川好和 野中彩子
 西田ちはる 遠藤万里 金野人史
 越橋美佳 小室真梨子 杉山美紀
 武田倫美 藤縄瑠美 田崎裕子
 古田早季

情報誌TAFが復活しました。今後も定期的に発行します。駅伝はいつでもテレビ観戦できるので、駒大が3冠達成できるよう応援しましょう!!
 ご意見、ご感想をお待ちしています
 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1
 マスコミ研究所駒大スポーツ陸上班
 Eメール TAF_komazawa@hotmail.com
 TEL・FAX 03(3418)9556 まで